



南三陸町で高齢の患者のケアにあたる国境なき医師団の医師たち。(2011年3月23日)

株式会社 東海セーフティ 様

この度は、国境なき医師団の活動をご支援くださりまして、誠にありがとうございました。

国境なき医師団の医療チームは、東北地方を大地震と津波が襲った翌日から、甚大な被害を受けた孤立被災地などをまわり、緊急援助活動を行っています。現在は、宮城県登米市を拠点にスタッフ12人が宮城県の南三陸町と岩手県の田老町の各避難所で移動診療を行いながら、その他の地域でも被災した人びとの正確なニーズの把握に努めています。また日本臨床心理士会から派遣された6人の臨床心理士と連携しながら、心理ケアの提供も開始しました。

国境なき医師団ではこれからも、機動力のある少人数のチーム編成で、医療援助が行き届いていない住民の発見に努めるとともに、高齢者や子ども、慢性疾患を持つ患者など、より弱い立場におかれた人びとのニーズに焦点をあてて活動します。

国境なき医師団の緊急医療援助活動は皆様からの寄付によって支えられています。ご支援ありがとうございました。

特定非営利活動法人
国境なき医師団日本
事務局長
エリック・ウアネス